伊方町議会第７５回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
加藤　智明議員	１　みかんアルバイターを受入れるための環境づくりについて	町　長

質問の要旨

伊方町のミカン農家さんも年末に向けて、温州ミカンの収穫も最盛期となってきている時期になりました。

新年に入れば中晩柑の収穫も始まってまいります。

そんな農家さんの労働負担軽減の下支えとなっているのが、みかんアルバイターの存在です。

年々需要も多くなり、大きな存在となっていると感じておりますし、11 月頃から早生ミカン等の収穫が始まり、4 月頃の晩柑類の収穫まで多くの方が参加されていると聞いております。

そんな、貴重な存在となってきている、みかんアルバイターですが、受け入れる側の農家さんからは、受け入れる環境、宿泊施設が少なくて困っているという声を聴きましたので、伊方町の受け入れ環境についてお尋ねします。

昨年、伊方町内での、みかんアルバイターは三崎地区 17 名、町見地区 14 名、大久地区 4 名、伊方地区 4 名の 39 人が参加されたと聞いております。

それに対して、アルバイターが宿泊できる施設はい三崎地区で 1 カ所 9 名、町見地区で 2 カ所の 14 名、大久、伊方地区では 1 カ所ずつの各 4 名の宿泊可能施設があります。

今現在でも宿泊施設が足りていないと感じる状況にあります。

町内には町営住宅や空き家バンクに登録された家屋等がありますが、そういった施設を利用できないのか。

また、今後もみかんアルバイターを必要とする農家さんは増えると予想されますが、今後の対応策についてお伺いします。

そして、最後に、みかんアルバイターを雇う農家さんへの支援があるのかお尋ねします。